氏名	牧野　由理	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	芸術学、美術教育学、美術教育史				
学位	博士（芸術学）				
学歴	1995年千葉大学教育学部、97年千葉大学大学院教育学研究科修士課程、12年筑波大学大学院博士後期課程人間総合科学研究科芸術学専攻				
経歴	2008年東横学園女子短期大学助教、09年東京都市大学人間科学部助教、13年城西国際大学福祉総合学部准教授、16年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	美術科教育学会、明治美術学会、大学美術教育学会、幼児教育史学会、日本保育学会				

【2022年度実績】

1．研究業績

（1）著作

	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	〈感じること〉からはじまる子どもの造形表現－理論と実践事例から学び,考えよう－	共著	あり	教育情報出版；P.160	平田智久，小野和，宮野周，丁子かおる，牧野由理ほか	2022.4

（2）論文

	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	明治期における博物・理科掛図に関する研究－文部省および東京造画館発行掛図を中心として－	単著	あり		美術教育学（美術科教育学会誌）；44；P.251-262.	牧野由理	2023.3

（3）学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	戦前の図画に関する教育掛図研究	単独	美術科教育学会，兵庫（オンライン）	〇牧野由理，金子一夫	2023.3

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	該当なし				

2．競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科学研究費補助金・基盤研究(C)	近代日本における〈学校用民間教育掛図〉の日欧比較研究ー教科横断的視点からー	研究代表者	2022.4～2026.3
2	公益財団法人DNP文化振興財団2020年度グラフィック文化に関する学術研究助成	近代日本における〈学校用民間教育掛図〉の図像学的研究	研究代表者	2021.1～2022.12
3	公益財団法人鹿島美術財団・2021年度美術に関する調査研究助成	博物画家・伊藤熊太郎に関する研究－明治から昭和初期における日米博物図の美的世界	研究代表者	2021.4～2022.11

3．教育業績

（1）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			

（2）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	芸術活動Ｂ（美術）①	〇	15	他学科の学生と小グループのグループワークを行わせることで、表現の多様性について理解させた。ゲストスピーカーとして国立西洋美術館の研究員を招き美術館の役割や今日的意義について学ばせた。
2	芸術活動Ｂ（美術）②	〇	15	他学科の学生と小グループのグループワークを行わせることで、表現の多様性について理解させた。ゲストスピーカーとして国立西洋美術館の研究員を招き美術館の役割や今日的意義について学ばせた。
3	幼児と表現（造形表現）Ⅰ	〇	15	造形の基礎的な技術を学ばせ、表現活動の省察をスケッチブックにまとめさせることで保育の活動に活用できるようにした。
4	幼児と表現（造形表現）Ⅱ	〇	15	立体的な表現活動を通して素材に対する理解を深め、保育の活動に結びつけるようにした。

5	保育内容・指導法（造形表現）	○	15	版表現について実践的に学ばせ、保育活動に活用できるようにした。またオリジナルの絵本の作成や鑑賞、読み聞かせを通して絵本の魅力を理解させた。
6	保育教職実践演習		1	まとめの回で助言を行った。

（3）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	保育実習事前事後指導ⅠA		4	保育実習で行われる季節に関する事象や行事について指導を行った。訪問担当学生の事前事後指導を行った。
2	保育実習事前事後指導ⅠB		3	訪問担当学生の事前事後指導を行った。
3	保育実習事前事後指導Ⅱ		4	訪問担当学生の事前事後指導を行った。
4	保育実習事前事後指導Ⅲ	○	15	実習施設の理解を深めるための事前指導を行った。ゲストスピーカーとして埼玉県の児童館・館長を招き、児童厚生施設に関して理解を深めさせた。実習後は振り返り、報告会、報告書作成の指導を行った。
5	保育実習ⅠA		2022.8～2022.9	3年生の担当学生を対象に訪問指導を行い、実習中の学びを支援した。
6	保育実習Ⅱ		2022.8～2022.9	4年生の担当学生を対象に訪問指導を行い、実習中の学びを支援した。
7	保育実習Ⅲ	○	2022.8～2022.9	実習先施設との調整を行った。3年生を対象に施設での実習について事前事後指導、訪問指導を行った。
8	教育実習（幼）Ⅰ		2022.9、3コマ	教育実習での造形表現について指導を行った。2年生の訪問担当学生を対象に実習の事前・事後指導・訪問指導を行い、実習中の学びを支援した。
9	教育実習（幼）Ⅱ		2022.5～ 2022.6、3コマ	教育実習での造形表現について指導を行った。４年生の訪問担当学生を対象に実習の事前・事後指導・訪問指導を行い、実習中の学びを支援した。
10	ヒューマンケア体験実習		2022.9	担当学生11名の指導を行った。

（4）論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4～2022.12	主指導　3名	副指導　名

（5）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	聖徳短期大学　非常勤講師	2022.4～2022.9	聖徳短期大学の色彩学を非常勤講師として1コマ担当した。

4．社会貢献活動

（1）講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	越谷市こころの健康図画コンクール	越谷市	審査員	2022.9

（2）国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	独立行政法人国立科学博物館・理工学研究部	協力研究員	2020.4～現在

（3）ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

（4）その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし	独立行政法人国立科学博物館	企画展「残して伝える！科学技術史・自然史資料が語る多様なモノガタリ」調査・展示協力	2022.4～2022.9

5．学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験室管理部会員	2022.4～2023.3
2	学科等における委員会等	有害物質等管理者	2022.4～2023.3
3	学科等における委員会等	卒研運営委員	2022.4～2023.3
4	学科等における委員会等	福祉子ども学専攻カリキュラム検討WG	2022.4～2023.3
5	学生支援	福祉子ども学専攻3年学年担当	2022.4～2023.3
6	学生支援	美術・陶芸サークル　トリケラトプス顧問	2022.4～2023.3
7	大学広報活動	オープンキャンパス模擬授業（2回）	2022.8

6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7．特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8．特記事項			
1	該当なし		